

市議会だより ななかま

No.198

Shigikaidayori NAKAMA

2026.5.10

<https://www.city.nakama.lg.jp>

3月 6月 9月 12月

- 1月臨時会の概要と議決結果・・・2
- 3月定例会の概要と議決結果・・・3～4
- 一般質問・・・5～9
- 中間市議会からのお知らせ・・・10



世界遺産登録10周年記念ラッピング電車

世界遺産登録10周年を記念し、筑豊電気鉄道の車両に遠賀川水源地ポンプ室のラッピングを施し、世界遺産及び中間市のPRを行います。走行期間は令和8年1月末から2年間です。

1月臨時会を開催しました

1月臨時会の概要と結果(1月30日)

令和8年第1回(1月)臨時会では、承認2件、議案1件が提出され、1月30日の1日間で審議されました。1月臨時会で審議された主なものについて、ご紹介します。

1月臨時会における議案は全員賛成で全て可決されました。

議案および議決結果は、ホームページに掲載しています。



市ホームページ

○ 可 決

令和7年度中間市一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出補正額 **4億2230万4千円**

歳入歳出総額 **213億6853万1千円**

【原案可決された事業の一部】

物価高対応子育て応援手当給付事業 1億1608万3千円

物価高が長期化する中、その影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、児童手当支給対象者のこども1人あたり2万円を支給します。

【対象】

- ・児童手当を支給されている児童(基準日:令和7年9月30日)
- ・令和7年10月から令和8年3月末までの出生児童



中間くらし応援券配布事業 3億1644万7千円

物価高騰が家計に及ぼす経済的負担の軽減を図り、地域経済の活性化を目的として1世帯あたり1万円に加え、世帯2人目以降1人あたり5千円の商品券を配布します。

【対象】

令和8年1月1日時点で中間市内に住民票がある人

【商品券使用期間】

商品券到着時から令和8年7月31日まで



3月定例会の概要と結果(3月3日～3月25日)

令和8年第2回(3月)定例会では、諮問1件、承認1件、議案28件が提出され、3月3日から3月25日までの23日間で審議されました。3月定例会で審議された主なものについて、ご紹介します。

3月定例会における議案は全員賛成または賛成多数で全て可決されました。議案および議決結果は、ホームページに掲載しています。



市ホームページ

賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	議員名														議決結果		
		植本	堀田	小林	田口善	原	森上	田口澄	掛田	阿部	原口	迫田	大和	柴田	大村		下川	中野
市長提出議案																		
第2号議案	令和7年度中間市一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第9号議案	中間市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第15号議案	中間市未来創造基金条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第16号議案	中間市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第19号議案	令和8年度中間市一般会計予算	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第20号議案	令和8年度中間市特別会計国民健康保険事業予算	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第23号議案	令和8年度中間市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第25号議案	令和8年度中間市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※中野議員は議長のため採決には加わりません。「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席です。

○ 可決

令和8年度中間市一般会計予算

歳入歳出総額 213億9338万8千円

(前年比 23億4822万8千円 増)

【原案可決された事業の一部】

^{えん}縁タメシティプラットフォーム事業 1億9874万2千円

地域コミュニティのつながり再生や地域経済の活性化、市民生活の利便性向上のため、地域ポータルアプリを構築する取り組みです。

地域ポータルアプリの主なサービス

①なかマイルポイント

地域活動への参加でポイント付与等。市内協力店で利用可。



②移動支援

タクシー会社と連携、自治会等の活動への参加をサポート。



③ヘルスケア

スマホで健康情報管理。(歩数達成でポイント付与等、楽しく健康活動を継続)



コミュニティバス運行事業 7354万8千円



※画像はイメージ図です。

タクシーのような便利さと路線バスの安さを兼ね備えたAI オンデマンドバスを運行します。

運行エリア : 中間市全域
 運行開始日 : 令和8年10月1日(予定)

第3子以降保育料無償化補助金事業 1976万9千円

安心して子どもを育てることができる環境づくりを推進するため、第1子、第2子の年齢や世帯収入に関わらず、第3子以降の保育料を無償化します。



一般質問目次

P 09	P 08	P 07	P 06	P 05
<ul style="list-style-type: none"> ▼水道料金改定の延期 ▼地域公共交通の市内全域での実施に向けた対応 <p>田口 澄雄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▼新しい病院 ▼中間市新中学校施設整備実施計画（案） ▼地域振興券 <p>植本 種寛</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▼ポイント制度を活用した地域支援事業 ▼高齢者を支えるサービス ▼自殺対策 ▼高齢者の健康づくり ▼障がい者の支援 <p>原 舞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▼市立病院跡地 ▼A-オンデマンドバス ▼今後の地域コミュニティ（校区まちづくり協議会）のあり方 ▼定住支援と合わせた同居・近居の支援 <p>大村 秀三</p> <p>田口 善大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▼行政の情報発信 ▼「市民の関心に応じたプッシュ型情報発信の構築を」 ▼学校におけるスマートフォン取り扱いの取り組みや子どもの暴力行為を予防するための学校教育の取組 ▼中間市の魅力アップのためのイベント等の開催とこれからの中間市の街づくりの展望 <p>阿部 伊知雄</p> <p>柴田 広辞</p>

3月定例会「一般質問」



柴田広辞議員
新風クラブ



行政の情報発信 「市民の関心に応じた プッシュ型情報発信 の構築を」

行政が情報を出しているかどうかではなく、市民一人一人に必要な情報が確実に届いているかどうかという視点から質問を行います。

現在の行政情報発信は、市が情報を出し市民が自ら探しに行く、プル型中心です。しかし、仕事や子育て、介護などで忙しい市民が常に能動的に情報を確認できるとは限りません。

そのような中で、市民の関心や状況に応じて、行政側から必要な情報を届けるプッシュ型の情報発信の重要性

は、今後高まると考えています。本市の認識をお聞かせください。

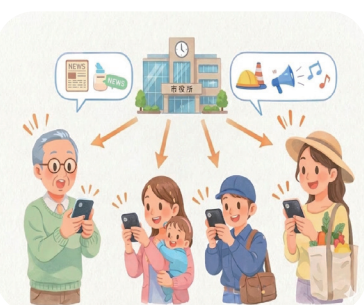
未来創造部長 市民の関心や置かれた状況に応じて、行政側から必要な情報を届けるプッシュ型の情報発信は、本市としても重要なものと認識しています。

議員 市民が関心のある分野を登録し、その分野ごとの行政情報をプッシュ通知で届ける仕組みについて、本市として導入・構築する考えはないか、お聞かせください。

未来創造部長 分野ごとに行政情報を整理し、関心のある情報をプッシュ通知で届ける仕組みは、市民の利便性向上に資する有効な手段です。市とし

て通知が過度に多くなれば、重要な情報が埋もれたり、通知自体が敬遠され、結果として情報が届かなくなるおそれを考慮に入れ、通知頻度への配慮や、既存の情報発信体制、運用面の負担などを踏まえ、実現可能な方法について取組を進めます。

議員 行政情報は市民の権利であり、暮らしを支える基盤です。必要な人に必要な情報が、必要なタイミングで確実に届くこと、その視点に立った情報発信の仕組みづくりを、ぜひ前向きに検討していただくことを強く要望します。





阿部伊知雄議員
公明党



学校におけるスマートフォンや子どもの暴力行いを予防するための学校教育の取組

学校で行われている、いじめや暴力行為を予防する取組を教えてください。

学校教育課長 児童生徒が多様性を認め、人権侵害をしない人に育つような人権教育の推進、児童会や生徒会による児童生徒の主體的な活動の推進、定期的なアンケートや面談等によるいじめに気づくための組織的な取組を実施しています。

議員 自己肯定感の高い子どもは、人間関係も良好であり、授業での学習内容が理解でき

るかは、子どもの自己肯定感に影響してきます。その意味でも、各教科の授業の工夫も大切です。

中間市の魅力アップのためのイベント等の開催とこれからの中間市の街づくりの展望

まちづくりの展望について市長の構想をお聞かせください。

市長 市を持続可能な形で運営していくには、経済、福祉、そして教育、この3本柱は欠かすことができません。現時点の最優先事項は、安定的な経済基盤の確保です。イベントを通じて、関係人口を増やすことで得た縁を介して様々な事業に つなげ本市全体を活性化

化させることが、一過性でない取組につながると考えています。

次に、福祉については、多く寄せられた要望に応えるため、移動手段の確保として当初予算において、未来投資的な目的で、縁タメシティプラットフォーラム事業、コミュニティバス運行事業を提案しています。

最後に教育について、今後の学校再編の進め方に関する検討委員会の答申には、「新築が望ましいことに加え、市の財政状況を考慮し、慎重に検討すること」とありました。この意見を踏まえ、現時点では、再編はソフト面から進め、必要な施設維持を行ないつつ、「経済」が十分に確保できた段階でハード面を手がけていくべきと考えています。



田口善大議員
中間クラブ



今後の地域コミュニティ（校区まちづくり協議会）のあり方

校区まちづくり協議会の設立目的について伺います。

安全安心まちづくり課長

自治会等の加入率の減少等によって、地域行事等ができなくならないように、小学校区内の諸団体を集結し、地域行事の開催や地域課題を解決することを目的として伺います。

議員 当時、松下前市長は住民自治によるまちづくりというビジョンを示し、設立に至ったはずですが、先ほどの答弁には住民自治によるまちづくりという大方針が一言もありませんで

した。大方針を取り下げたのか、変更されたのかを伺います。

安全安心まちづくり課長

設立当初の住民自治によるまちづくりの基本方針について、変更はありません。

議員 自治会の負担増という課題を改善しなければ、新たな担い手の発掘や、次世代の担い手の育成も困難であると考えます。早急な検討と、地域の方と話し合いながらの課題解決をお願いします。

定住支援と合わせた同居・近居の支援
流入人口を増やすことも重要ですが、市内からの流出人口を減らすことも重要です。昨年、「蒲郡市

三世代同居・近居住宅支援補助金」の視察に行かせていただき大変勉強になりました。導入に向けて動き出すべきだと考えます。市の見解を伺います。

建設産業部長 定住支援の政策を見直す選択肢の一つとして、検討したいと考えています。

議員 施策は、近隣に先駆けてやらなければ、効果の最大化は見込めません。

近隣ではまだ聞いていませんので、是非前向きな検討をお願いします。





大村秀三議員
創希改



市立病院跡地

旧中間市立病院が閉鎖され年月が経過してはいますが、解体や活用が進まず、市民には止まったままの場所に見えます。早期に解体し、暫定的でも広場として活用すれば、イベントやマルシェ、防災拠点など市民が集える場所として使えた可能性があります。この間の機会損失を踏まえ、今後どう進めていくのか伺います。

場全体の再編と合わせて検討する必要があります。今あったためです。今後、基本構想の策定や土地の安全性確保に努めながら、再編を進めます。

議員 市民が知りた

いののは、いつまでに、何が形になるのか、工程を見える化し、必ず実行することを求めます。

Aーオンデマンドバス

本事業を交通政策にとどまらず、生活インフラとして位置づけていきますか。

都市計画課長

地域公共交通計画において、生活インフラとして位置づけています。

議員

利用者の状況に応じた予約の複雑化

をどう設計していますか。

都市計画課長 予約は電話やアプリ、市公式LINEから行う予定とし、自治会からの要望があれば、説明会も実施します。

議員

乗降場所について、市民の要望を反映する見直しの仕組みを用意していますか。

都市計画課長

乗降場所の配置は、コミュニティバス等の乗降場所をもとに公共施設等を追加し、間隔を直線距離で300メートル以内を目安に配置案を作成しています。この案を各自治会において検討していただいた上で配置を決定します。

議員

止まっていた場所が動き、移動が変わり、市民が変化を実感できてこそそのま

ちの再生です。結果

で示していくことを

求めます。



原口佳三議員
公明党



高齢者の健康づくり

本市は高齢化が進んでおり、日常生活や生活面でも様々な課題があります。自治会の中では、自分達でレクリエーション等を行なっています。

活動をしている方達に支援はできないのか伺います。

介護保険課長

地域の自主活動に対し、金銭的な支援は行っていませんが、一般介護予防事業に位置づけた地域のご要望に沿った内容の健康づくり教室を、専門講師を招いて活動支援をしています。また、自主活動で使用する備品の貸与も随時行い、活動支援につな

げています。

いて伺います。

介護保険課長

65歳以上のひとり暮らし高齢者や、高齢者のみ世帯の方へ、買物や調理が困難な方を対象とした配食サービスを実施しています。

議員

公園内に健康遊具を設置できないか伺います。

建設課長

屋島公園のように多くの方が歩きながら利用できる場所に健康遊具を設置している状況ですが、他の公園への健康遊具の設置も可能と考えます。

議員

高齢者に対する低栄養のサポートが行なわれているのか伺います。

議員

高年齢者に対する低栄養のサポートが行なわれているのか伺います。

健やか育成課長

管理栄養士等による生活習慣病や重症化の予防、フレイル介護予防に繋がる市民向けの健康教室を実施しています。

議員

独居で外出をあまりしない方への低

栄養のサポートにつ

なっています。

障がい者の支援

支援が有効に使われるように、世帯の状況に応じて複数の支援メニューから選択できる仕組みにできないのか伺います。

保健福祉部長

市の福祉窓口等において、障がい者世帯が抱える課題の解決や、適切なサービス利用に向け、相談支援専門員により、サービスの利用計画を作成し、

サービスの支給決定

につなげる仕組みを

整えています。



原 舞議員
おれんじの会



自殺対策

第2期いのちを支える中間市自殺対策行動計画上のデータ

では、令和2年以降

の本市における自殺死亡者が急増しています。本市の自殺対策の取組を伺います。

健やか育成課長

市内小中学校の児童生徒を対象としたSOSの出し方に関する教育を行い、市内まわづくり協議会等を通じて、チラシ配布などの普及啓発を行っています。一方で自殺対策を支える人材の育成として、ゲートキーパー養成研修を実施していますが、認知度が低いことが課題として挙げられます。

議員 市内における命の門番（ゲートキーパー）は何名か伺います。

健やか育成課長 ゲートキーパー養成研修は338名の方が受講しています。

議員 複数の課で連携し、相談者を支援できる体制が整備されているか伺います。

福祉事務所長 第2期いのちを支える中間市自殺対策行動計画では自殺対策として

「基本施策」「重点施策」「生きる支援関連施策」の3つの分野で各課が施策を共有し、関係課と連携して取り組むことを掲げています。また、相談支援においても、相談者の多岐にわたる

生活上の課題に対応するため、庁内の相談窓口の連携強化を図り、切れ目のない支援体制を整備する取組を進めています。

現在、本計画に基づき、各課がそれぞれの事業に取り組んでいます。今後、さらなる

庁内の連携強化を図り、本計画の趣旨及び内容を全庁的に普及推進できるように研修の実施等も検討していきます。

議員 相談者がまずはじめに言うことは、「どこに相談すればよいのか分からない」ということです。死にたい原因は多岐にわたり、それぞれに応じた相談窓口があっても浸透して

いないため、死にたい気持ちに発展してしまっています。1日でも早く、誰もが相談しやすい総合相談窓口の開設、周知徹底を望みます。



掛田るみ子議員
公明党



ポイント制度を活用した地域支援事業

縁タメプラットフォーム事業の内容について伺います。

企画課長 地域ポイントの制度を整備し、

社会活動等に対するポイント付与や、移動支援サービスを整備することで、地域住民や高齢者の社会参加が促進され、地域コミュニティの維持再生及び経済循環を図るものです。

議員 本事業はポイントアプリを開発し、

社会活動・健康促進活動等にポイントをつけ、それを活用した移動支援サービスを整備し、地域活性化を目指すようなイメージと受け止め

しました。

事業への福田市長の思いを伺います。

市長 本事業により、本市が目指す高齢者の社会参加の促進に加え、地域で支え合う仕組みづくりが醸成されることで進化したコミュニティが生まれることが期待されます。

高齢者を支えるサービス

ひとり暮らしの高齢者見守りネットワーク事業の活動主体は、民生委員でしょうか。
介護保険課長 事前登録した見守り対象者に対し、民生委員児童委員協議会、自治会連合会、老人クラブ連合会の各団体が連携し安否確認を行

います。
議員 事前登録はどう行われ、窓口はどこですか。

介護保険課長 本人や

家族が登録を希望する場合や、相談窓口、民生委員等の見守り活動の中で登録へつ

ながる場合もあります。窓口は、地域包括支援センターです。
議員 見守り対象者と見守り隊の数は何名ですか。

介護保険課長 令和8

年1月末現在、対象者数97名で、隊員数201名です。
議員 令和2年の国勢調査では、単身高齢者世帯は3049人であり、見守り対象者97名は少ないと感じます。現場では様々な困り事があると思



植本種實議員
明政クラブ



新しい病院

新中間病院と中間市は連携を行っていましたが、今後開院するなかま病院との連携について伺います。

健やか育成課長

新中間病院はこれまで特定健診、がん検診、予防接種等を通して市の健康事業に協力しており、4月以降の開院後も現在の健診・予防接種事業を新施設で継続していただくとともに、今後連携可能な業務についても協議を進めていきます。

中間市新中学校施設整備実施計画（案）

中間南中学校に中間東中学校の仮設校舎を建てる計画ですが、仮設ではなく新中学校校舎

舎を建ててはどうですか。また、中間中学校に底井野小学校の移設を見込んでいるようですが、小学校関係は何も決まっていますか。

教育総務課長

見解を伺います。中学校の再編では、全市のなまちづくりの見地から中間中学校と中間東中学校の敷地が選定されました。教育委員会では、その方針に基づいて敷地を最大限有効活用できるように施設整備の方法を検討しています。また、小学校の配置は未定ですが、市全体のまちづくりを踏まえ、中間中学校敷地への底井野小学校機能移転を検討する必要がありますが、今回取りましたので、今回の新中学校施設整備実施

計画策定業務で将来的に柔軟に対応できるように配置計画を検討しました。

地域振興券

地域振興券は物価対策として市民に好評ですが、市内工商业者には不十分だと思えます。そこで全店共通券とセットで市内中小店専用券を発行してはいかがでしょうかですか。

商工観光課長

中小規模店舗支援のため、大規模店舗で利用できない振興券の導入は、前向きに検討すべき課題と認識しています。しかし、物価高騰で市民生活が厳しい現状では、市民の皆様にとって利用しづらくなる可能性があります。今後の国の物価高騰対策が完了し、経済が安定すれば、中小規模店舗専用の振興券導入も含め議論を進めます。



田口澄雄議員
日本共産党



地域公共交通の市内全域での実施に向けた対応

コミュニケーションバス運行事業は、全市的運行を視野に入れたものですか。また利用方法はどのようなのですか。

都市計画課長

市内全域をエリアとする区域運行へ、運行の対応を変更する予定です。利用は複数の利用者が出発地と目的地を選択し、乗車時間を予約すると、AIが最適な運行ルートを決め、利用者同士が乗り合いしつつ、おむね希望時間どおり到着することが可能です。議員 業者を選考した理由を伺います。都市計画課長 交通事業者を母体とする

専門的知見を生かし、市内公共交通と連携した、より精度の高い公共交通網を構築することができると判断したためです。

議員

住民参加型で進める長野県木曾町の先進事例などを参考にすべきと思います。市民の要求重視で率直に耳を傾けるところから事業の推進を図り、業者任せにしない姿勢を大事にしてください。

水道料金改定の延期

改定は平均すると何%の値上げですか。水道課長 平均改定率は、約39%です。議員 これらを料金で単純に比較すると39%程度ですが、使用数量別で見ると6トンの場合63%、10トンの場合83%の値上げになります。そして、0〜20トンまでの引上げ率の高い世帯が全体の80%を占めます。水道課長 公共料金の引上げをすべきではないと思いますが、いかがですか。水道課長 経済情勢は承知していますが、料金改定をしない場合は資金がマイナスとなり、事業の継続が困難となるため、令和9年4月の改定に向けて準備を進めています。議員 一般会計からの繰入れも検討すべきではないですか。水道課長 水道経営は公平性の観点から、受益者負担の原則に基づき、料金収入で運営費を賄う独立採算が原則であると考

《中間市議会からのお知らせ》

議会運営委員会 行政視察報告(令和8年2月2日)



▲視察の様子

議会広報紙の作成について(福岡県添田町)

添田町議会の議会広報紙は、町村議会広報コンクールで受賞されるなど高く評価されており、住民の皆さまに分かりやすい紙面づくりがなされていました。

特に作成マニュアルの整備により委員が交代しても一定水準の編集が可能となりました。

市議会の情報を発信



本会議・委員会のライブ・録画映像はYouTubeで配信しています。

以下のQRコード以外にも、中間市議会のHPのバナーからもご覧いただけます。



本会議 録画配信
QRコード



委員会 録画配信
QRコード

Follow Me!

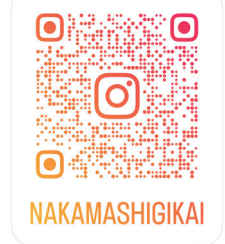


Instagram

定例会の開催情報や日々の議会の活動内容を随時発信しています。

是非、アカウントをフォローしてチェックしてください。

nakamashigikai 検索



次の定例会は、6月16日(火)から開催する予定です。

議員の一般質問は6月18日(木)午前10時から行う予定です。

本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。

次の定例会 問合せ：議会事務局 ☎ 246-6220



会期日程 QRコード

公共施設での議会の生中継について

中間市役所、ハピネスなかま、なかまハーモニーホール及び地域交流センターにて、議会の生中継を行っています。議会開催日が休館日の施設では、中継は行いませんので、ご注意ください。

ハチケングループ



有限会社 八幡建設



株式会社 九商

飲食部 うどん処 ひら田



藤木建設株式会社

- ◆ 土木建築工事業 ◆ 下水道更生管工事業 (SPR工法)
- ◆ 管・水道施設工事業 ◆ とび・土工事業 ◆ 舗装工事業
- ◆ 土壌改良及び地下環境保全 (リテラ工法)

〒809-0030 中間市中央1丁目9番30号1階
TEL 093-246-2355 FAX 093-246-0158



ISO 9001:2015
03338-01
ISO 14001:2015
09631-01



■点字・声の市議会だよりなかまを発行しています
目が不自由な人に「市議会だよりなかま」を点字または朗読テープにてお届けします。詳しくはお問い合わせください。
【問合せ】議会事務局 ☎ (246)6220